

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅱ
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数（時間）	2 単位（30 時間）	開講年次	2 年次 第 2 学期
授業概要 *講師からのメッセージ	事例を通して地域で生活しながら療養する人々とその家族を総合的に理解し、在宅看護展開について学びましょう。		
目的：地域で生活しながら療養する人々とその家族を総合的に理解し、在宅看護を展開するための基礎を学ぶ 目標：1. 在宅療養者と家族を総合的に理解するための情報収集の視点が理解できる 2. 在宅療養者と家族の生活上の問題をアセスメントすることができる 3. 在宅療養者と家族の状況に応じた看護が理解できる			
回	授 業 内 容		授業方法
1	1. 在宅看護の実践 1) 演習の進め方の説明 2) 地域・在宅看護における看護過程 3) 地域・在宅看護実践に欠かせない要素 4) 地域・在宅における時期別看護の特徴		講義
2	2. 在宅看護における基本的情報集項目と情報の整理、アセスメント 1) 事例紹介（脳梗塞後・糖尿病療養者） 2) 地域・在宅における看護過程の展開 3) 情報収集とアセスメント		演習
3	3. 在宅療養者の身体的・精神的側面の理解 1) 情報の整理 2) 療養者の身体面・精神面についてアセスメント		演習
4	4. 在宅療養者の社会的側面の理解 1) 療養環境のアセスメント 2) 家族のアセスメント 3) 社会資源・経済面のアセスメント		演習
5 6(45 分)	5. 在宅療養者の全体像の理解 1) 情報のアセスメントを用いて関連図を作成する		演習
7	6. 在宅療養者の生活上の問題に対する看護介入 1) 地域・在宅看護過程における看護目標の設定・計画		演習
8	7. 在宅療養者の生活上の問題に対する看護介入 1) 地域・在宅看護過程における看護目標の設定・計画 2) 在宅看護に必要な基本的態度とマナー		演習
9・10	8. 病療養者宅へ訪問実際 1) 訪問時のマナー 2) 地域・在宅看護の実施と評価		シミュレーション
11	9. 在宅療養へ移行する療養者の事例展開（パーキン病事例） 1) 転倒リスクが高く、高齢家族介護者への支援		講義
12	10. 認知機能が低下した在宅療養者の事例展開（認知症の事例） 1) 認知症をもちながらひとりで暮らす人の支援		講義
13	11. 難病療養者の事例展開（筋委縮性側索硬化症〈ALS〉の事例） 1) ALS で在宅療養を選択した対象者への支援		講義
14	12. 難病療養者の事例展開（脊髄損傷・医療的ケア児） 1) 中途障害の対象者への支援 2) 医療的ケア児の対象者や家族への支援		講義

15	13. 終末期在宅療養者の事例展開（終末期がんの事例） 1) 自宅で療養したいと退院を望む対象者への支援	講義
16(45 分)	終了試験	
評価方法	筆記試験(70 点) 演習課題の提出(30 点) 評価基準参照	
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践：医学書院	
備考	特記なし	